

2023年9月30日



報道関係者各位

瀬戸内わくわくプロジェクト

瀬戸内海に面する県に横串を。

岡山県と香川県から総勢 50 名の親子が集合！

2023年9月24日 岡山県倉敷市六口島にて環境と食の体験共有。

瀬戸内わくわくプロジェクトでは、海はみんなのものであるという意識を持ってもらうため、行政区域に捕らわれることなく、面的に瀬戸内海の面する県の子供たちや漁業関係者を繋ぎ、子供たちに海と魚を好きになってもらうための活動をスタートしました。当初8月の開催を予定していましたが、台風が接近したため開催を延期し、9月24日に2回目の「島に集まれ！環境と食の体験共有」と題したイベントを岡山県倉敷市の六口島にて開催いたしました。

このイベントは、次世代へ豊かで美しい海を引き継ぐために、海を介して人と人とがつながる“日本財団「海と日本プロジェクト」”の一環です。



イベント概要

- ・開催概要 岡山と香川県に住む子供たちがそれぞれの県から船に乗って島で出会い、島での環境と食の体験を共有するプログラムです。
- ・日程 9月24日（日）
- ・開催場所 岡山県倉敷市六口島
- ・参加人数 岡山県・香川県から参加の子供と保護者総勢 50 名
- ・協力団体 下津井漁業協同組合



瀬戸内わくわくプロジェクト主催

9/24 SUN. 六口島

* 写真はイメージ

* スケジュールは予定です。

8:40 **20分前集合**

9:20 9:00 丸亀港出発
9:40 下津井漁協出発



10:10 **オリエンテーション**

10:30 海の家集合して
専門家からビーチ
クリーンのお話を聞く

11:30 **海水浴**

12:30 主催者が準備した
ライフジャケットを
来て海水浴！



13:30 **魚の生態を
学ぼう！**

14:00 活きたタコなどを
実際に触ったり
しながら漁師さんから
魚について学びます！



子供43名
保護者25名
関係者8名

**船で島へ
六口島上陸
写真撮影**

10:00

下津井からは15分
丸亀からは30分

10:10

ビーチクリーン

10:30

11:30

赤・青・黄・ピンク
の4チームに分かれて
チームリーダーと
ビーチクリーン活動



ランチタイム

12:30

海の家で持参した
ランチと島で用意した
お魚の試食が
あります。

13:30



帰宅準備

14:30

お疲れ様でした！

岡山は下津井漁協から香川は丸亀港からそれぞれ船で六口島に向かいます。

六口島は岡山県倉敷市下津井漁協から船で10分ほどの島で、民宿が2件あるだけの水道が引かれていない島です。漁師と民宿を営む下津井漁協の理事でもある山本さんの協力を得て、9月24日（日）に2回目となる「島に集まれ！環境と食の体験共有」と題したイベントを開催しました。以前は海水浴のお客さんで賑わっていたビーチも、今ではすっかりさびれてしまっています。1回目の香川県豊島と同様に、島には診療所もないため、AEDや看護師帯同し、安全第一で準備を進めました。水がない島という事で、水の大切さについてのお話も漁師さんからして頂きました。



六口島のビーチで子供たちが海や魚に興味を持ってもらうためのアクティビティ開催

9月とはいえ、暑さ厳しい中、島に到着した参加者には暑さ対策や安全についてのオリエンテーションが行われ、8月の1回目の開催と同様に、最初のプログラムは、海ごみについての勉強と、ビーチの清掃活動です。同行して頂いた、海ごみに関する専門家の中野さんより、瀬戸内海の家ごみの現状や、それが及ぼす影響などについてレクチャーをして頂きました。

ビーチ清掃でたくさん汗をかいた後は、お楽しみの海水浴です。

9月ということで、海にくらげが発生しているのではないかと心配されましたが、今年にくらげが少ないという事でほっと胸をなでおろして、ライフジャケットを着て海水浴を楽しみました。



ビーチの清掃活動と楽しい海水浴を終えて、ランチの後は、魚についての学習です。下津井漁協では活きたタコが入手できなかったため、香川県の津田町漁協の漁師の上田さんに活きたタコと一緒に参加してもらいタコの生態についてクイズ形式でお話を聞くことができました。

お話の後は、六口島の漁師、山本さんからタコや魚をさばくプロセスを教えてくださいました。

活きている状態を見て、それを捌き、美味しく食べるというプロセスを海辺で体験する事が出来て、子供たちや帯同の保護者から大きな歓声があがりました。



参加した子ども・保護者からの声

像の形をした岩がそっくりですごかった。（小学生の男の子）

子供が泳ぐ様子をみながら、海に足をつけられて楽しかったです。（30代女性）

活きたタコを初めてみました。！（30代男性）

暑かったけど、楽しかった！（小学生の女の子）

たくさんの笑顔を頂きました。

<団体概要>

団体名称 : 瀬戸内わくわくプロジェクト

URL : <https://setouchiwakuwaku.com/>

活動内容 : 瀬戸内海の水産資源を守り、美しい海を子供達に残すため、瀬戸内地域の関係が自治体の枠を超えて繋がる場作りや、瀬戸内海の魅力を国内外に発信するグローバルな活動をしています。





日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

<お問い合わせ先>

団体名：瀬戸内わくわくプロジェクト

担当者名：丸山 幸子

電話： 090-3204-5265

メールアドレス：setouchiwakuwaku@gmail.com